

江戸川区みどりの基本計画（原案）に関する意見募集結果（意見要旨・対応方針）

◆オープンハウス

実施期間：令和5年10月15日（日）～28日（土）

来場者数：534名（小松川・平井：88名、中央：108名、葛西北部：84名、葛西南部：71名、小岩：56名、鹿骨：69名、東部：58名）

◆意見募集

募集期間：令和5年10月15日（日）～28日（土）《2週間》

HP閲覧者数：349名

意見総数：127件

意見内訳：計画に関する意見：20件、要望等：90件、無記載：17件

○みどりの基本計画に関する主な意見要旨

意見要旨	対応方針
計画の目標がぶれなかったことで現在の状況が実現したと思う。改定に際しても将来を見据えた計画にできるとよい	現行計画から引き続き将来を見据え、「2100年江戸川区（共生社会ビジョン）」などの上位計画を念頭に計画を作成しています。
今後どう変わるか具体的に示せるとよい 個人として具体的に何をできるか記載があるとよい	【第5章 地域別計画】に各地域の将来像と方針を記載しております。 【第6章 計画の実現に向けて】に区民・開発事業者・区の役割について記載しております。
公園の場所の偏りを無くし、地域にあった計画が必要	【第4章 みどりの施策】「歩いて行ける公園の計画的な配置」「拠点となる公園の整備」に記載しているように、公園の不足地域を整理し、計画的な公園整備を進めます。
みんなのこうえん、バイオネストを増やすとしているが、具体的には用地の手配等、どのように増やすのか	「みんなのこうえん」は、地域による利用ルールづくりや公園運営によって、より使いやすく魅力的な公園づくりを進めることを目的としており、既存の公園を活用します。 バイオネストも既存の公園を活用して設置数を増やす予定です。
自然を保全・拡充し、カワセミなど希少な生物がすみやすい環境を整えられるとよい	【第4章 みどりの施策】「生物にやさしい公園づくり」に記載しているとおり、生物の生息環境の確保に努めます。

意見要旨	対応方針
今後想定される災害に備えられるとよい	【第4章 みどりの施策】《水とみどりを活用した防災まちづくり》に記載しております。
ヤリタナゴが重要種として示されて「分布」していることになっている。東京都内でも、在来個体群が継続的に繁殖している例は見つかっておらず、分布図に示すのは適当では無いと思う	親水緑道・親水公園で見られる生物については生物調査により確認された種を整理しております。分布しているのか放流由来かは判断できないので、計画書には生物調査で「分布・確認された生物」に修正します。
公園内で農業を楽しむことができる施設を作してほしい	【第4章 みどりの施策】「農とふれあう公園の整備」「園芸福祉の推進」に記載しております。
ボランティアの機会を広げられるとよい	【第4章 みどりの施策】《ボランティアの発掘と育成》に記載しております。
欲しい情報へのアクセスを改善してもらえたら緑の活動にも取り組みたいと思う人が情報を得やすくなる	【第4章 みどりの施策】「水とみどりの情報発信」「みどりの大切さを伝える情報の発信」などに記載しております。
樹木計画は毎年継続することが必要	【第4章 みどりの施策】「街路樹指針に基づいた整備と管理」「街路樹の整備」に記載しているように、将来を見据えて各路線の状況に合わせた適切な整備、維持管理を行います。
第4章：基本方針2（みどりを育む）の実現には区民への理解普及活動が大事	【第4章 みどりの施策】《みどりの意識を高めます》を実施することで普及啓発に努めます。
みどり率30%の現状を少しでも上昇させて欲しい	みどり率31%を目標値として事業を推進いたします。
保護樹やアダプト制度など様々な事業に関してケアが必要	【第4章 みどりの施策】「樹木、樹林地所有者への支援」「身近な取り組みの支援」に記載しております。